

# 貸借対照表

(平成27年3月31日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
<b>流動資産</b>	2,638,339	<b>流動負債</b>	4,021,904
現金及び預金	105,877	短期借入金	1,350,000
未収金	2,354,772	1年以内返済予定の長期借入金	524,060
未収消費税等	145,264	未払金	2,099,597
その他流動資産	32,424	未払法人税等	24,567
		未払利息	528
<b>固定資産</b>	62,749,771	賞与引当金	8,980
鉄道事業固定資産	28,909,169	その他流動負債	14,171
有形固定資産	15,909,597	<b>固定負債</b>	50,536,542
無形固定資産	12,999,572	長期借入金	39,901,070
建設仮勘定	33,714,744	長期前受金	10,628,001
投資その他の資産	125,858	その他固定負債	7,470
差入保証金	7,492	<b>負債計</b>	54,558,446
長期前払費用	118,365		
		(純資産の部)	
<b>繰延資産</b>	18,174	株主資本	10,847,839
株式交付費	18,174	資本金	19,584,800
		利益剰余金	△ 8,736,960
		その他利益剰余金	△ 8,736,960
		繰越利益剰余金	△ 8,736,960
		<b>純資産計</b>	10,847,839
<b>資産合計</b>	<b>65,406,285</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>65,406,285</b>

# 損 益 計 算 書

〔 平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
鉄道事業営業収益		
線路使用料収入	800,702	
運 輸 雑 収	62,046	862,748
鉄道事業営業費		
一 般 管 理 費	41,230	
諸 税	196,257	
減 価 償 却 費	1,302,445	1,539,932
鉄 道 事 業 営 業 損 失		677,183
営 業 外 収 益		
受 取 利 息	445	
雑 収 入	2,355	2,801
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	144,489	
株式交付費償却	10,358	154,847
経 常 損 失		829,230
税引前当期純損失		829,230
法人税、住民税及び事業税	2,010	2,010
当 期 純 損 失		831,240

# 株主資本等変動計算書

〔 平成26年4月 1日から  
平成27年3月31日まで 〕

(単位：千円)

	株主資本			純資産合計
	資本金	利益剰余金	株主資本合計	
		その他利益剰余金		
		繰越利益剰余金		
当期首残高	17,599,900	△ 7,905,720	9,694,179	9,694,179
当期変動額				
新株の発行	1,984,900		1,984,900	1,984,900
当期純損失		△ 831,240	△ 831,240	△ 831,240
当期変動額合計	1,984,900	△ 831,240	1,153,659	1,153,659
当期末残高	19,584,800	△ 8,736,960	10,847,839	10,847,839

# 個別注記表

〔平成26年4月1日から  
平成27年3月31日まで〕

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産（リース資産を除く）

鉄道事業取替資産 取替法によっております。

その他の有形固定資産 定額法によっております。

無形固定資産 定額法によっております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、見込利用期間（5年）の定額法によっております。

リース資産 リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

長期前払費用 均等償却を行っております。

### 2. 繰延資産の処理方法

株式交付費 繰延資産とし3年の定額法により償却処理しております。

### 3. 引当金の計上基準

賞与引当金 従業員の賞与支給に備えるため、将来の支給見込額のうち当事業年度に負担すべき金額を計上しております。

### 4. 消費税等の会計処理 税抜き方式によっております。

### 5. 支払利息の建設原価算入処理

鉄道建設事業に要した資金に対する支払利息を建設原価に算入しております。

### 6. 工事負担金等の会計処理

鉄道事業における連続立体交差化工事等を行うにあたり、関係自治体等より工事費の一部として工事負担金等を受けております。これらの工事負担金等は、工事完成時に当該工事負担金等相当額を取得した固定資産の取得原価から直接減額しております。

### 7. ヘッジ会計の処理方法

繰延ヘッジ処理によっております。なお、特例処理の要件を満たしている金利スワップについては特例処理によっております。

#### 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額	4, 893, 420千円
2. 固定資産の取得原価から直接減額された 工事負担金等累計額	27, 386, 058千円
3. 固定資産の科目ごとの総額	
有形固定資産	15, 909, 597千円
土地	888, 675千円
建物	1, 746, 336千円
構築物	12, 832, 474千円
機械及び装置	436, 205千円
工具・器具・備品	5, 905千円
無形固定資産	12, 999, 572千円
施設利用権	12, 975, 259千円
その他	24, 312千円
4. 関係会社に対する金銭債権及び金銭債務	
短期金銭債務	1, 976, 981千円

#### 損益計算書に関する注記

関係会社との取引高	
線路使用料収入	800, 000千円

#### 株主資本等変動計算書に関する注記

発行済株式の数	391, 696株
(平成26年度増資株式の数)	39, 698株)

#### 税効果会計に関する注記

繰延税金資産の発生の主な原因は、繰越欠損金等であり、評価性引当額として全額を控除していることから、貸借対照表上繰延税金資産は計上しておりません。

## 金融商品に関する注記

### 1. 金融商品の状況に関する事項

当社は、資金運用については短期的な預金等に限定し、資金調達は関係自治体及び金融機関からの借入を行っております。

借入金の使途は設備投資資金であり、一部の長期借入金の変動リスクに対して金利スワップ取引を実施して支払利息の固定化を実施しております。

### 2. 金融商品の時価等に関する事項

平成 27 年 3 月 31 日（当期決算日）における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。

（単位：千円）

	貸借対照表 計上額 ※	時 価 ※	差 額
(1) 現金及び預金	105,877	105,877	—
(2) 短期借入金	(1,350,000)	(1,350,000)	—
(3) 長期借入金	(40,425,130)	(41,308,503)	883,373
金融機関	(7,673,230)	(8,556,603)	883,373
関係自治体	(32,751,900)	(32,751,900)	—
(4) デリバティブ取引	—	—	—

※ 負債は、( )で表示しております

### （注）金融商品の時価の算定方法に関する事項

#### (1) 現金及び預金並びに(2) 短期借入金

短期間で決裁されるため、時価は帳簿価額に等しいことから、当該帳簿価額によっております。

#### (3) 長期借入金（1年以内返済予定を含む）

長期借入金の時価については、元利金の合計額を同様の新規借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。金利スワップの特例処理の対象とされている一部の借入金についても、当該金利スワップと一体として処理された元利金の合計額を、同様の借入を行った場合に想定される利率で割り引いて算定する方法によっております。

なお、関係自治体からの借入金の時価については、返済期間が長期であり、時価を把握することが極めて困難と認められるため、当該帳簿価額によっております。

#### (4) デリバティブ取引

金利スワップの特例処理によるものは、ヘッジ対象とされている長期借入金と一体として処理されているため、その時価は、当該長期借入金の時価に含めて記載しております。

### 賃貸等不動産に関する注記

当社は、放出～久宝寺間において、線路使用料を収受する鉄道施設（おおさか東線）を保有しております。この施設の時価については、線路使用者が限定されるため一般的な市場価格が観察できないこと、取得原価から直接減額した工事負担金等受入相当額が帳簿価額に含まれないこと等により時価を算定することが極めて困難なため開示を致しておりません。

### 資産除去債務に関する注記

当社は、本社事務所の建物賃貸借契約に基づき、事務所退去時における原状回復に係る債務を有しておりますが、当該債務に関連する賃借資産の使用期間が明確でなく、将来本社を移転する予定もないことから、資産除去債務を合理的に見積もることが困難なため計上致しておりません。

### 1 株当たり情報に関する注記

1. 1株当たり純資産額	27,694円	54銭
2. 1株当たり当期純損失	2,190円	47銭

関連当事者との取引に関する注記

〔法人主要株主等〕

(単位：千円)

属性	会社等の名称	議決権等被所有割合	関連当事者との関係	取引の内容	取引金額	科目	事業年度末残高
主要株主	大阪府	直接 28.80%	—	出資金 (注1)	577,200	資本金	5,641,100
				補助金 (注2)	478,429	未収金	436,535
				負担金 (注3)	76,757	未収金	76,757
				借入金 (注4)	1,557,000	長期借入金	13,428,800
				支払利息 (注4)	5,952	未払利息	112
主要株主	大阪市	直接 28.80%	—	出資金 (注1)	577,200	資本金	5,641,100
				補助金 (注2)	478,429	未収金	436,535
				負担金 (注3)	234,338	未収金	234,338
				借入金 (注4)	1,557,000	長期借入金	13,428,800
				支払利息 (注4)	5,940	未払利息	101
その他の関係会社	西日本旅客鉄道㈱	直接 23.38%	建設工事の委託、おおさか東線鉄道線路貸付	出資金 (注1)	577,200	資本金	4,578,550
				工事費 (注5)	8,869,841	未払金	1,971,263
				線路使用料収入 (注6)	800,000	—	—
				債務被保証 (注7)	9,023,230	—	—



#### 取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注1) 大阪外環状線鉄道建設にあたり、大阪府、大阪市及び西日本旅客鉄道株式会社等との合意に基づき、鉄道建設資金の出資を受けております。
- (注2) 大阪外環状線鉄道建設は幹線鉄道等活性化事業費補助適用事業に採択されており、これによる補助金を交付されております。
- (注3) おおさか東線事業に関連する平野川分水路護岸改修工事及び淀川北岸線（おおさか東線交差部）立体交差事業等に伴い、当社施工工事に係る負担金を受入れております。
- (注4) 大阪府、大阪市との契約に基づき、大阪外環状線鉄道建設事業資金の借入を行うとともにその利息を支払っております。
- (注5) 大阪外環状線建設工事の施行を委託する協定を締結し、これに基づく工事費を支払っております。
- (注6) おおさか東線に関する鉄道線路使用契約に基づき線路使用収入を受入れております。
- (注7) 金融機関からの借入金に対する保証予約を受けております。
- (注8) 取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

(注) 記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。